



結びついた湖海と火山と緑の大地 洞爺湖町、誕生

3月 洞爺湖町誕生

1920年(大正9年)の分村から86年を経て再びひとつの町に合併。

4月 とうや小学校開校

洞爺・大原・香川・成香の4小学校を統合して、新たな「とうや小学校」が誕生。

6月 合併後初の洞爺産業まつり開催

会場の湖畔広場は1万人を超える来場者でにぎわい、とうや牛の焼肉や様々なアトラクションが行われた。

6月 洞爺湖町開町式典

開町式典には姉妹町の箱根町から山口昇士町長らが出席し、姉妹都市宣誓書が交わされた。

【その他のできごと】

- ・初代洞爺湖町長に長崎良夫氏が当选
- ・とうや湖クリーン農業協議会がコープさっぽろ賞会長賞受賞
- ・岡田屋「白いおしろこ」が中小企業長官賞受賞



▼写真説明

1. 洞爺湖町役場除幕式
2. 町村合併後に初めて行われた産業まつり
3. とうや小学校開校式
4. 洞爺湖町開町式

1	
2	4
3	

平成19年

2007

踏み出す未来への一歩



3月 花和小学校が閉校

1903年（明治36年）に仁成香尋常小学校小花井分教所として開校した花和小学校は、735人の卒業生を送り出し、103年の歴史を終えた。

3月 新洞爺総合支所オープン

総合支所には新しくなった総合センターが併設され、住民の利便性の向上が図られた。

3月 国道230号新ルート開通

有珠山噴火で寸断された国道230号の新ルートは洞爺湖温泉街の月浦寄りに開通し、全線の約8割は2本のトンネルで構成。

7月 三豊市と友好都市提携

1975年（昭和50年）に姉妹町村提携を交わした旧洞爺村と香川県の旧財田町は、両町村それぞれの合併に伴って友好都市提携を締結した。



【その他のできごと】

- ・合併後初の町議会選挙は2選挙区で実施
- ・洞爺湖ビジターセンター、火山科学館オープン
- ・洞爺湖温泉街湖畔に噴水広場オープン
- ・移設の虻田洞爺湖インターチェンジ開通

▼写真説明

1. 洞爺総合支所除幕式
2. 国道230号新ルート開通式
3. 三豊市友好都市提携調印式
4. 花和小学校閉校式

1
2
3
4



平成 20 年

2008

郷里の自然がつなぐ世界の絆 洞爺湖サミット開催



1 月 雪蔵貯蔵施設が完成

雪熱で農産物保管庫を低温に保つシステムは省電力と二酸化炭素排出抑制の効果が、地球温暖化対策に貢献。

4 月 洞爺湖芸術館がオープン

旧洞爺村庁舎を改修した芸術館には、洞爺村国際彫刻ビエンナーレの入賞作品や、彫刻家・砂澤ビッキ氏の作品、写真家・並河萬里氏の作品が常時展示。

4 月 道の駅とうや湖がオープン

町内 2 か所目の道の駅として開業した「とうや湖」は、地元の農産物を中心に地場産品が多数並び、休日には大勢の観光客らでにぎわう。

7 月 北海道洞爺湖サミット開催

先進国首脳会議（G8 サミット）はザ・ウィンザーホテル洞爺を主会場に開催。町も町民会議を中心に交流とイベントを実施。

▼写真説明

1. イギリス大使と交流する長崎元町長
2. 完成した雪蔵貯蔵施設 $\frac{1}{2}$
3. 道の駅とうや湖 $\frac{3}{4}$
4. 洞爺湖芸術館 $\frac{4}{4}$

【その他のできごと】

- ・サミット 100 日前イベント開催
- ・サミット 50 日前カウントダウンイベント開催



洞爺湖有珠山 世界ジオパーク誕生

平成21年

2009

7月 縄文シティサミット開催

「縄文人の精神文化をまちづくりにつなげよう」と縄文都市連絡協議会加盟自治体が持ち回りで実施しているサミット。洞爺湖町では初開催。

7月 洞爺地区に準都市計画導入

無秩序な宅地等の開発を抑え、周辺環境の保全に努めるため、洞爺地区の一部に準都市計画を導入。

8月 洞爺湖有珠山世界ジオパーク決定

西胆振3市町にまたがる洞爺湖有珠山ジオパークが長崎県・島原半島、新潟県・糸魚川とともに国内第1号の世界ジオパーク認定を受ける。

12月 財政健全化計画を策定

平成20年度決算において、実質公債比率が国が定める健全化基準を超えたため、財政健全化計画を策定する。



【その他のできごと】

- ・新賢範さん(虻田中)と横山駿太さん(虻田高校)がスキー全国大会で活躍
- ・J Aとうや湖の雪蔵貯蔵施設が経済産業省「新エネ百選」
- ・酪農学園大学と地域総合交流協定を締結

▼写真説明

- | | |
|--------------------|---|
| 1. 世界ジオパーク決定を喜ぶ関係者 | 1 |
| 2. 縄文シティサミット | 2 |
| 3. 洞爺湖町財政健全化計画書 | 3 |

平成 22 年

2010 積み重ねた100年の歴史



4月 町長選挙で真屋氏が当選

任期満了に伴う洞爺湖町長選挙には2人が立候補。前町教育長の真屋敏春氏が初当選。第2代洞爺湖町長に就任。

6月 第1回TOYAKOマンガ・アニメフェスタ開催

洞爺湖温泉誕生100年記念事業の一つとして企画。現在では参加者が2日間で7万人を超える洞爺湖の一大イベントとなる。

7月 洞爺湖温泉誕生100年感謝祭

24日から2日間開催された感謝祭のセレモニーには高橋はるみ知事も参加。地元の中学生らも吹奏楽や太鼓演奏などでイベントを盛り上げた。

10月 2000年噴火後、初の4市町合同防災訓練

有珠山周辺4市町合同の防災訓練を豊浦ふるさとドームで開催。自衛隊、気象台など16機関と住民ら約300人が参加。



【その他のできごと】

- ・洞爺湖温泉誕生100年記念式典
- ・有珠山噴火メモリアル10年イベント開催
- ・リフォーム助成事業開始
- ・西胆振定住自立圏形成協定締結

▼写真説明

- | | |
|-----------------|---------------|
| 1. 洞爺湖温泉100年感謝祭 | $\frac{1}{2}$ |
| 2. 第1回アニフェス | $\frac{3}{3}$ |
| 3. 4市町合同防災訓練 | $\frac{4}{4}$ |
| 4. 初登庁する真屋町長 | |



2011

列島を襲う巨大地震
試される災害の備え

3月 東日本大震災が発生

地震と津波は東日本一帯に多数の犠牲者と大きな被害をもたらした。町は被災地支援に向け見舞金、支援物資、募金活動、職員派遣などを実施。

7月 洞爺高校の家庭クラブが全国入賞

道代表として山梨県で行われた全国大会に出場し「ホームプロジェクト」「学校家庭クラブ活動」2部門の発表で3位に相当する山梨県教育委員会賞を受賞。

9月 日本ジオパーク全国大会

3日間開催された大会には延べ約2千人が参加。「ジオツーリズムを通じた観光地づくり」をテーマにシンポジウム、分科会やジオツアーなどを通して、観光だけでなく防災との関わりも学んだ。

10月 有珠山総合防災訓練

有珠山噴火を想定し住民避難、情報伝達、救出訓練などの手順を確認。だて歴史の杜と壮瞥温泉の2会場に3市町の住民など約400人が参加。



【その他のできごと】

- ・洞爺湖町災害時要援護者避難支援計画を策定
- ・西胆振6市町が防災協定締結
- ・北海道小学生陸上競技大会ソフトボール投いで橋本吏功さん（虻田小）が優勝

▼写真説明

1. 有珠山総合防災訓練
2. 東日大震災の救援物資を準備する職員
3. 全国ジオパーク大会のジオツアー
4. 入賞を町長に報告する洞爺高校家庭クラブ

$$\frac{1}{2} \frac{3}{4}$$

【三豊市・洞爺湖町】災害時における相互応援協定調印式



【箱根町・洞爺湖町】大規模災害時等の相互応援協



まちとまちの絆でつくる 新たな防災体制

平成24年

2012



4月 三豊市と災害時応援協定

東日本大震災による広域大規模災害を踏まえ、友好都市三豊市と災害時の相互応援協定を締結。協定書には職員派遣など7項目を明記。

6月 箱根町とも災害時応援協定

大規模災害時の相互応援協定を姉妹町の箱根町とも締結。両町の絆が一層強まる体制となった。

11月 第1回大秋獲祭を開催

町内各産業団体が共催し、洞爺湖温泉特設会場で開かれた。特産品販売、バーベキュー、サケのつかみ取りなど秋の味覚を満喫した。

11月 津波ハザードマップ全戸配布

北海道が6月に示した津波浸水予測図を基に町内の津波ハザードマップを作成し、町内全戸に配布。浸水区域や避難所が示されている。

【その他のできごと】

- ・映画「しあわせのパン」先行試写会
- ・第1回町民感謝祭開催
- ・塩野谷孝二さん（花和）が内閣総理大臣賞（畜産部門）受賞

▼写真説明

1. 香川県三豊市と協定締結
2. 神奈川県箱根町と協定締結
3. 津波ハザードマップの住民説明会
4. 大秋獲祭で鮭を捕まえる子ども

1 | 2
3
4

平成25年

2013

鉄人集結

アイアンマン・ジャパン開催

5月 とうや音頭保存会設立

旧洞爺村の開基90周年を記念して昭和51年に作られた都はるみさんが歌うとうや音頭。後世に伝えていきたいと保存会が結成。

8月 初のトライアスロン大会

北海道では初開催のトライアスロン大会「アイアンマン・ジャパン」に国内外から約1400人が参加。水泳・自転車・マラソンの計 226.2キロに挑戦した。

10月 虻田中学校の教室でP C B飛散

虻田中学校で授業中の教室の蛍光灯が破損し PCB が飛散し、生徒1人が病院を受診。その後の健康診断では生徒、教職員に健康被害はなかった。

11月 北海道F Cと交流協定

コンサドーレ札幌を運営する北海道フットボールクラブとスポーツ観光の活性化をめざし、相互交流協定を締結。



【その他のできごと】

- ・ 国道230号道路整備促進期成会設立
- ・ 洞爺湖有珠山ジオパークが世界ジオパークに再認定
- ・ 入江地区で2つのメガソーラー発電施設が稼働

▼写真説明

1. とうや音頭のレコード
2. アイアンマン・ジャパン
3. 北海道F Cと協定締結
4. 国道 230 号道路整備促進期成会



平成26年

2014

姉妹都市と展望する 次の50年



3月 入江貝塚出土品が道文化財に選定

入江貝塚の発掘調査で出土した約14万点のうち、シカの角で作られた釣針やもり頭、イノシシの牙、イモガイなどで作られた装飾品など134点が指定された。

7月 箱根町との姉妹都市提携50周年

「芦ノ湖と富士山」「洞爺湖と羊蹄山」の景観が似ていることから昭和39年に姉妹提携してから50年にわたり友情を育んできた。

8月 中学生が避難所開設体験

虻田中、洞爺中、洞爺湖温泉中の2年生が虻田小学校体育館で避難所設営や運営方法について学んだ。

12月 地熱利用施設が完成

金比羅火口付近のボーリングで約100℃の温泉が汲み上げられたことから、バイナリー発電、温泉街への供給、温泉卵などに施設を活用している。

【その他のできごと】

- ・ 真屋敏春氏が町長に再選（2期目）
- ・ 地域交流センター（さわやか別館）改修
- ・ 町道成香5号線伏見橋で崩落事故
- ・ 本町地区水道水の水源を洞爺湖に切り替え

▼写真説明

- | | |
|-------------------|---|
| 1. 姉妹都市提携50周年記念式典 | 1 |
| 2. 道文化財に指定された出土品 | 2 |
| 3. 中学生の避難所開設体験 | 3 |
| 4. 完成した地熱利用施設 | 4 |



平成 27 年

2015



「応援してます箱根」 ツアー開催

1 月 温泉街に無料 Wi-Fi 整備

洞爺湖を訪れる観光客らに気軽にインターネットを利用してもらうと、中心街の湖畔遊歩道などに延べ約2.2キロに無料の Wi-Fi を整備。

4 月 FM放送局 wi-radio (ワイラジオ) 開局

西胆振 4 市町協同で開局したワイラジオは防災・災害情報をメインとしながら、地域住民に身近な情報を提供。

9 月 箱根応援ツアーに112人

箱根町の観光スポット大涌谷付近で続く火山活動が観光に打撃を与えたため、町民ら112人が「応援してます箱根」ロゴの T シャツを着て応援ツアーを実施。

11 月 洞爺高校が閉校式典

地域に根ざし、特色ある教育を続けてきた町立洞爺高校が、施設の老朽化や入学者の減少のため64年の歴史に幕を下ろす。



【その他のできごと】

- ・町内 4 カ所に電気自動車用急速充電器を整備
- ・虻田郷土資料館がリニューアル
- ・洞爺湖マラソン出場登録が最多の7,897 人
- ・防災訓練に住民ら330人が参加

▼写真説明

1. 洞爺高校閉校式典
2. 箱根応援ツアー
3. 街路灯に設置された Wi-Fi 設備
4. ワイラジオでリハーサル

1
2
3 4



迎えた合併10周年 刻み続ける町の足跡

- 2月 洞爺湖温泉中学校が閉校**
虻田中学校への統合が決まり、69年の歴史に幕を下ろす洞爺湖温泉中学校の閉校記念式典が行われた。
- 3月 新消防洞爺出張所が完成**
老朽化に伴い新築された庁舎は洞爺地区の防災機能の拠点となった。
- 3月 洞爺湖町誕生10周年**
平成18年3月27日に旧洞爺村と旧虻田町が合併して10年を迎えた。洞爺湖文化センターで約450人が参加して節目を祝った。
- 7月 洞爺湖温泉開湯100年に感謝**
洞爺湖温泉に初の温泉旅館「竜湖館」が開業してから100年にあたり、開湯100年感謝祭として様々なイベントが開かれた。

平成28年

2016

【その他のできごと】

- ・新賢範さん（虻田中出身）がスキークラシック大回転に出場
- ・洞爺湖消防団に女性分団が誕生
- ・名誉町民に長崎良夫さんと朝倉英隆さん

▼写真説明

- | | |
|-----------------|-----------|
| 1. 合併10周年記念式典 | 1 |
| 2. 消防新洞爺出張所 | 2 3 4 |
| 3. 開湯100年感謝祭 | |
| 4. 洞爺湖温泉中閉校記念式典 | |





新しい道に明るい声 臨港道路開通

- 4月 月浦運動公園「ポロモイスタジアム」がオープン
旧月浦小学校跡地に人工芝の「ポロモイスタジアム」が完成。公式競技用1面、ジュニア用のサッカーコート2面を確保する。
- 8月 北海道トライアスロン大会
アイアンマン・ジャパン北海道大会の休止を受け、新たに北海道トライアスロン大会が開催。初回は271人が出場した。
- 9月 青葉山道にパワースポット
風水スポットとして人気の虻田神社の裏山中腹に龍の卵をイメージしたモニュメントを設置。
- 11月 大磯漁港の臨港道路が完成
大磯地区に整備された虻田漁港大磯分区分に海沿いに接続する臨港道路が完成し、記念ウォークが行われた。



平成29年

2017

【その他のできごと】

- ・洞爺湖消防団が日本消防協会特別表彰受賞
- ・洞爺の2小中に初のコミュニティスクール設置
- ・崩落した町道伏見橋の復旧工事が終了
- ・胆振西部合同の噴火総合防災訓練

▼写真説明

1. 臨港道路記念ウォーク
2. 北海道トライアスロン大会
3. 完成したポロモイスタジアム
4. 青葉山道のモニュメント

1	2
	3
	4



平成30年

2018 食と遊びの充実目指して

3月 地域食堂ほのぼのオープン

子どもや高齢者など誰もが気軽に食事や交流できる地域食堂がオープン。当初は地域交流センターに開設された。

5月 馬鈴薯集出荷貯蔵施設が完成

とうや湖農協が整備した施設は原料を1280トン、製品を約65トン貯蔵可能。また、野菜集出荷センターにも新しい選別機を導入した。

8月 クライミングウォールが完成

あぶたふれ合いセンターロビーに完成したクライミングウォールは高さ、幅とも約6メートルで洞爺湖クライミングクラブが運営。

12月 箱根町から応援ツアー

9月の胆振東部地震の影響で落ち込んだ洞爺湖観光を応援しようと箱根町から108人が来町。

【その他のできごと】

- ・真屋敏春氏が町長3選
- ・TOYAKO マンガアニメフェスタに過去最高の7万3千人来場
- ・毛利郁也さん（洞爺中3年）が少年の主張全道大会で最優秀賞
- ・胆振東部地震が発生

▼写真説明

- | | | |
|-------------------|---|---|
| 1. 地域食堂ほのぼの | 1 | 3 |
| 2. 洞爺湖町応援ツアー | 2 | 4 |
| 3. 完成したクライミングウォール | | |
| 4. 馬鈴薯集出荷施設 | | |



平成31年・令和元年

2019

高校跡地を 子育ての拠点に



4月 新しい洞爺保育所が開所

洞爺保育所とさくら保育所を統合した新しい洞爺保育所が旧洞爺高校跡地に完成。0歳児保育も可能になった。

4月 洞爺高校メモリアル公園が完成

閉校した洞爺高校の歴史を後世に伝えようと、同校跡地に誰もが遊べる公園として整備。

9月 支笏洞爺国立公園が70周年

昭和24年に14番目の国立公園として制定されてから70年の節目を迎え、シンポジウムが町内で開催。

10月 有珠山の火山活動の現状

有珠山の最新の研究成果と火山活動の現状について、専門家4人による一般向けの講演会が役場で開かれた。

【その他のできごと】

- ・町議会選挙（定数が14人から12人に削減）
- ・「北海道・北東北の縄文遺跡群」が世界文化遺産推薦候補に選定
- ・洞爺湖ロータリークラブが設立50周年
- ・消防洞爺出張所に新しい消防車配備
- ・5月1日、元号が「平成」から「令和」に改元

▼写真説明

1. 完成した洞爺メモリアル公園
2. 新しくなった洞爺保育所
3. 支笏洞爺国立公園70周年シンポジウム
4. 有珠山火山活動の講演会

1	
2	
3	4



令和2年

2020 感染症の混乱収束に全力

2月 新型コロナウイルス対策本部

北海道内でも感染者が確認されて、町長を本部長とする対策本部を設置し、全庁挙げての対応を図った。

5月 コロナ感染防止取り組み宣言

北海道の移動自粛解除宣言を受け、町と町内経済団体5団体は、観光客に安心を届けようと感染防止取り組み宣言を行った。

7月 人参洗浄選別機を導入

とうや湖農協が新たに導入した設備は1日当たり72トンのニンジン洗浄・選別・箱詰めでき、作業が大幅に効率化された。

10月 ふるさと応援団洞爺湖ツアー

道内外に在住するふるさと応援団員を対象とした洞爺湖満喫ツアーには17人が参加。2泊3日の日程で洞爺湖町の魅力を再発見した。

【その他のできごと】

- ・入湯税を150円から300円に引き上げ
- ・洞爺湖有珠山ジオパークが世界ジオパークに再認定
- ・洞爺湖温泉誕生100年タイムカプセル開封式
- ・1月、新型コロナウイルス国内初の感染者を確認

▼写真説明

- | | | |
|--------------------------|---|---|
| 1. コロナ感染防止取り組み宣言 | 1 | 3 |
| 2. 人参洗浄選別機 | 2 | 4 |
| 3. 洞爺湖温泉誕生100年タイムカプセル開封式 | | |
| 4. ふるさと応援団洞爺湖ツアー | | |



令和3年

2021

入江・高砂貝塚 世界遺産に認定

4月 ウトゥラノがオープン

アイヌ文化、アイヌの歴史を伝承するアイヌ民族共生拠点施設として整備。ウトゥラノは「共に、一緒に」を意味するアイヌ語。

4月 中島・湖の森博物館がオープン

老朽化していた洞爺湖森林博物館に代わり、洞爺湖の豊かな自然の歴史を伝える新しい施設。名称は和泉莉音さん（当時とうや小学校5年）の案を採用。

7月 入江・高砂貝塚が世界遺産に決定

長年の要望活動が実り、「北海道・北東北の縄文遺跡群」が世界遺産に登録。遺跡群は北海道、青森、岩手、秋田の4道県、17遺跡で構成。

8月 洞爺駅構内にエレベーター設置

JR洞爺駅ホームの1番線と2・3番線を結ぶ連絡橋には階段しかなかったため、設置により高齢者や観光客らの利便性が向上。



【その他のできごと】

- ・「さぼーとステーションゆうあい」オープン
- ・新型コロナワクチンの町民接種開始
- ・洞爺湖町景観計画を策定
- ・入江・高砂貝塚館がリニューアルオープン

▼写真説明

1. 入江・高砂貝塚が世界遺産に決定 $\frac{1}{2}$
2. 中島・湖の森博物館 $\frac{3}{4}$
3. オープンしたウトゥラノ
4. 洞爺駅のエレベーター



令和4年

2022

コロナ禍でもつなげる まちづくり



2月 西胆振で大雪

21日から22日にかけて記録的な大雪を記録。除雪が追いつかずＪＲや路線バスが運休する事態となった。また、農業施設などにも多額の被害が生じた。

4月 下道氏が町長に初当選

前町議会議員の下道英明氏が４選を目指した現職の真屋敏春氏を破り初当選。洞爺湖町では初となる民間出身の町長となった。

7月 湖畔に「TOYA」のモニュメント

洞爺湖温泉観光協会職員手作りの「TOYA」のロゴモニュメントが湖畔遊歩道に設置。現在も観光客らの撮影スポットとなっており、冬季はイルミネーショントンネルが人気を集める。

10月 箱根中学生とオンライン交流

コロナ禍のため訪問交流が制限されていることから、虻田中と洞爺中の生徒が姉妹町の箱根中学校の生徒とオンライン交流した。

▼写真説明

1. 初の民間出身の町長となった下道氏
2. 新たに設置されたモニュメント
3. オンライン交流する中学生
4. 2月に発生した大雪

$\frac{1}{3}$
 $\frac{2}{4}$

【その他のできごと】

- ・ＪＡとうや湖青年部作成の動画ＣＭがコンテストでＪＡ北海道青年部最優秀賞
- ・ＵＷクリーンレイク洞爺湖に前田一步園賞

令和5年

2023

考え続ける火山との共生



1月 ゼロカーボンシティ宣言

2050年までの二酸化炭素排出実質ゼロに向け、ゼロカーボンシティ宣言を行い、行政・町民・事業者が一体となって取り組むことを決めた。

4月 西山火口散策路に新ルート

新しく整備されたのは旧国道230号を間近で見られる「旧国道ルート」。第1展望台の南側から第2展望台を結ぶ約300mのコースとなっている。

8月 成香自治会に神輿プレゼント

成香地区のレイクヴィラファームが生産した競走馬・グローリーヴェイズ号が2019年と21年に香港 G1 レースを制覇したことを記念し、成香自治会に神輿を寄贈。

9月 NHKと協力して噴火防災訓練

避難訓練には約250人が参加し、避難ルートや避難方法を確認。また、町とNHKによる地域ミーティングが行われ、災害時の行動などについて意見交換。

【その他のできごと】

- ・ G7 ゼロカーボンミーティング in 洞爺湖開催
- ・ 洞爺湖有珠山ジオパークが世界ジオパーク再認定
- ・ 洞爺湖温泉地区の降水量が観測史上最大
- ・ 2023アジアベンチプレス大会開催



▼写真説明

1. G7 ゼロカーボンミーティング in 洞爺湖
2. 西山火口散策路の新ルート
3. 成香自治会に寄贈された神輿
4. 噴火防災訓練の地域ミーティング

1	2
	3
4	



姉妹提携 積み重ねて 60年

令和6年

2024

- 4月 三豊霊園合葬墓で受け入れ開始
市街地と内浦湾を望む三豊霊園内の一角に設置された合葬墓。750体の遺骨を受け入れ可能で、年15体を見込む。
- 7月 箱根町との姉妹提携が60周年
昭和39年の提携以来、中学生の相互訪問交流をはじめ災害時の応援交流など様々な交流を通し、友情を深めて60年を迎えた。
- 9月 ツーデーマーチの歴史に幕
惜しまれつつ37年の歴史の幕を閉じた北海道ツーデーマーチ。最後の大会には2日間で延べ1067人が参加。
- 10月 縄文シティサミットが開催
洞爺湖町の開催は15年ぶり2回目。全国18都市の首長らが縄文を通したネットワークづくりなどを議論した。

【その他のできごと】

- ・旧洞青寮を「Aとうや湖」に貸与
- ・洞爺国際交流協会 30 周年式典
- ・洞爺地区コミュニティタクシー・とうやコネクトタクシー運行開始
- ・能登半島地震が発生
- ・映画「しあわせのパン」再上映会

▼写真説明

1. 姉妹都市提携 60 周年記念式典
2. 三豊霊園の合葬墓
3. 縄文シティサミット
4. 北海道ツーデーマーチ

1
2 3 4





2月 ビジターセンター100万人

来館者100万人を達成した洞爺湖ビジターセンターには町の火山科学館も併設。洞爺湖の自然環境と有珠山噴火の歴史が学べる。

3月 噴火25年を迎え、火山防災を議論

火山の専門家や火山マイスター、自治防災組織などで活動する住民をパネリストに2000年噴火について意見を交わした。

4月 とうやコイン利用開始

公共施設の利用やイベント参加などで貯まり、町内だけで使えるデジタル通貨。プレミアム商品券などにも活用してキャッシュレス化を図っていく。

7月 三豊市と友好都市提携50周年

旧洞爺村が香川県財田町と1975年（昭和50年）に締結した友好都市提携から50年を迎えた。写真は記念品として三豊市から贈られた観光名所・父母ヶ浜の風景。

【その他のできごと】

- ・消防洞爺湖支署に大型水槽車1台配備
- ・財田米マップを作成
- ・ライドシェアタクシードライバーの募集開始
- ・初代町長の長崎良夫氏が逝去
- ・小中学生バレーボールチーム「洞爺湖イグナイト」結成

▼写真説明

- | | | | |
|-----------|---|---|---|
| 1. とうやコイン | 1 | 2 | 3 |
| の利用風景 | 4 | | |
1. とうやコインの利用風景
 2. 有珠山噴火の議論
 3. ビジターセンター100万人目の来館者
 4. 三豊市から記念に贈られた写真

令和7年

2025

つないだ絆は次の時代へ

